

第二回スマート農業現地実演会を開催

～アグリロボトラクタ、自動操舵システム付きトラクタ、収量コンバイン～

令和元年11月6日
農林水産部

今年度採択された農林水産省の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」において、中山間地域の水稲に適合したスマート農業技術を実証・展示することとしております。

この度、第二回目となる現地実演会を開催しスマート農業技術の効果を広く農業者や関係機関にPRしましたので、下記のとおり概要を報告します。

記

- 1 日時 令和元年11月6日（水）午前10時30分～12時
- 2 場所 農事組合法人ほづスマート農業実証ほ場（亀岡市保津町保津新田）
- 3 来場者 約140名
〔生産者 33名、コンソーシアム構成企業 3社 11名、大学 9名、市町村 10名、
農水省 12名、府普及員等 37名 他〕
- 4 内容 ①アグリロボトラクタ、②自動操舵システム付きトラクタ、
③収量コンバイン



①アグリロボトラクタが無人で作業を行う(クボタ)



②従来のトラクタを自動運転化(トプコン)



③収量コンバインで刈取と同時に収量、品質関連成分をタブレットで即座に把握(クボタ)

5 参加した生産者の意見

「半年間の実証で大幅に農作業の負担が減った（実証生産者）」
「導入に向けて、初期費用、維持費や通信費はいくらかかるのか」
「色々なデータが取れ、経営判断に活かそう」
等、様々な意見や質問が出され、スマート技術導入への関心の高さが感じられました。

6 今後の予定

今年度の田植から収穫までの実証結果をまとめ、中山間地域水稲に適した一貫技術体系の構築を目指します。（令和2年度まで）